



Nippon Computer Dynamics Co., Ltd.

日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社

第57期 株主通信 2021 4.1 ▶ 2022 3.31

57th

Vision2023 スローガン

Change & Challenge for Smile



代表取締役社長

下條 治

株主の皆様、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社は、2022年3月16日をもちまして、創立55周年を迎えることができました。長きにわたるあたたかいご支援に対し、重ねて御礼申し上げます。

ここに当社第57期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の業績についてご報告いたします。

情報サービス業界の動向

情報サービス業界におきましては、労働環境の変化や中長期の成長を見据え、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進に積極的に取り組む企業の増加傾向が見られました。2022年1月施行の改正電子帳簿保存法によりペーパーレス化が推進されるなど、今後もDX需要は高まっていくことが予想されます。当社では、今後も多様な顧客ニーズに対応し、顧客のビジネス変革の支援などを通じた当社グループの持続的成長を目指すため、2022年4月に「DX推進部」を新設しました。また、グループ子会社やビジネスパートナーの活用を一層推進するとともに、高付加価値業務にシフトすることで、収益力とサービス品質の向上を図り、既存の大手顧客および保険会社を中心とした取引基盤の拡大に引き続き取り組んでまいります。

自転車駐輪場業界の動向

自転車駐輪場業界におきましては、緊急事態宣言等の発出やテレワークの推進などによる影響は受けつつも、駐輪場利用状況は前年比で改善しました。機器販売については、新型コロナウイルス感染症(以下、「感染症」という)の拡大に伴い顧客の投資意欲の停滞が見られた一方で、感染症対策を取り入れた都市再開計画なども各地で進行しており、需要は緩やかな回復基調で推移するものと見込んでおります。このような事業環境において、当社グループは外部環境の変化や需要変動に柔軟に対応できる収益基盤の確立のため、事業の構造改革を推進するとともに、IT技術によりコスト削減効果と利便性の高さを実現する月極駐輪場管理システム「ECOPOOL」のさらなる拡販に取り組んでまいります。

中期経営計画「Vision2023」

基本方針

ストックとフローの連携強化による 更なる付加価値の向上

バリュー

- NCDバリューの追求と更なる進化

ドメイン

- NCDの特色を生かした
事業ドメインの一層の拡大

体制

- 事業体制の強化
- グループフォーメーションの最適化



詳細は下記よりご確認ください。
<https://www.ncd.co.jp/ir/management/plan/>



数値目標の見直しについて

グループ 連結	2022年3月期 (実績)	2023年3月期 (当初計画)	2023年3月期 (修正計画)
売上高	205億円	200億円	210億円
営業利益	9億円	12億円	10億円
営業利益率	4.4%	6.0%	4.8%
ROE	10.7%	15%以上	12%以上

見直しの主な理由

- IT関連事業において案件獲得等が引き続き伸長することが見込まれ、売上高は当初計画を上回るものと想定
- パーキングシステム事業において当初想定水準ほどの機器販売や新規案件の需要が見込めないと判断
- 人的資本やDX推進に伴う戦略的投資を拡大

業績

IT関連事業(システム開発事業、サポート&サービス事業)においては、引き続き既存顧客の新領域の案件獲得が伸長するとともに、サポート&サービス事業における利益率の改善が見られたことにより、前年同期比で大幅な増収増益となりました。

一方、パーキングシステム事業におきましては、前年同期に比べ駐輪場利用状況が大きく改善したことに加え、機器販売も第3四半期連結会計期間以降に増加したことにより、増収増益となりました。

以上により、当連結会計年度の売上高は、20,550百万円(前年同期比17.0%増)、営業利益902百万円(前年同期比272.3%増)、経常利益956百万円(前年同期比146.1%増)となりましたが、社宅および駐輪場設備に係る減損損失215百万円を特別損失に計上したことにより、

親会社株主に帰属する当期純利益は458百万円(前年同期比214.7%増)となりました。

配当

当期の期末配当につきましては、業績等を総合的に勘案した結果、普通配当を1株当たり7円といたしました。これにより、当期の年間配当は、既に実施した中間配当7円と合わせ、1株当たり14円となります。

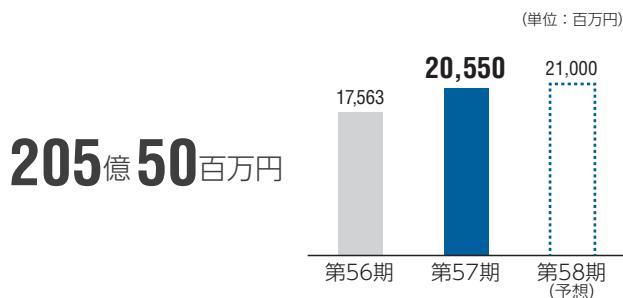
今後の見通し

中期経営計画「Vision2023」に関しましては、直近の業績の動向等を踏まえ、最終年度である2023年3月期の数値目標の見直しを行いました。(概要については上記表を参照ください)

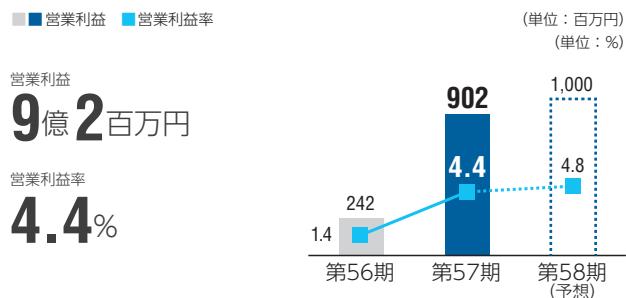
株主の皆様におかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

連結業績

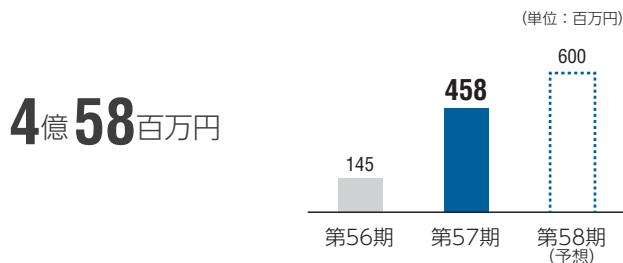
売上高



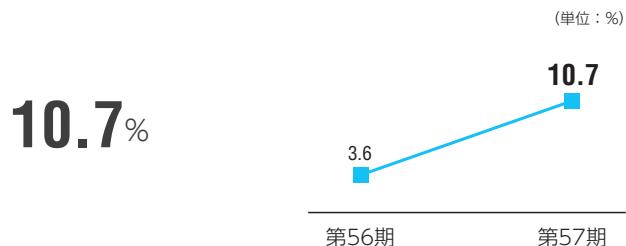
営業利益／営業利益率



親会社株主に帰属する当期純利益



ROE (自己資本利益率)



株主還元

企業体質の強化と積極的な事業展開に備えて内部留保に努めるとともに、配当性向や配当利回りなどを総合的に判断し、安定的な配当を維持することを基本方針としてまいりました。今後におきましても本基本方針のもと、適切な利益還元を実施していく所存です。

また、株主の皆様の日頃のご愛顧にお応えするとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの皆様に当社の事業へのご理解とご支援をいただくことと、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加を図ることを目的に、**株主優待制度**も取り入れております。

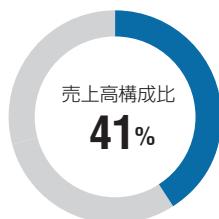
→ [裏表紙 株主優待制度のご案内](#)

配当金の推移

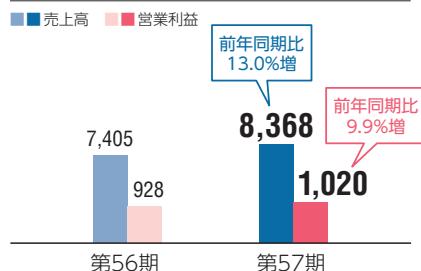


システム開発事業

NCD、ゼクシス、NCDテクノロジー、NCD China^(*)



売上高／営業利益 (単位：百万円)



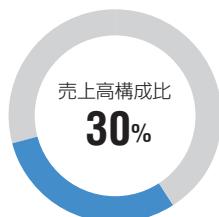
主要なサービス

- ・システムコンサルティング
- ・アプリケーションシステムの設計・構築
- ・システムインフラの設計・構築
- ・パッケージ導入・構築支援

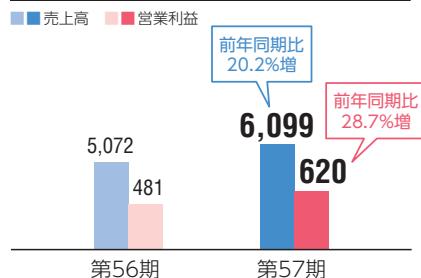
生損保の既存顧客を中心に、新領域の案件獲得が堅調に推移しました。また、顧客企業の業務効率化やコスト削減意識の高まりを背景に、会計シェアードサービスなどの需要も引き続き旺盛で、前年同期比で増収増益となりました。

サポート&サービス事業

NCD、ゼクシス、NCDテクノロジー



売上高／営業利益 (単位：百万円)



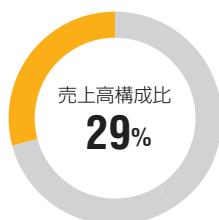
主要なサービス

- ・アウトソーシングサービス
- ・ヘルプデスクサービス
- ・テクニカルサポートサービス
- ・システムインフラの保守・運用

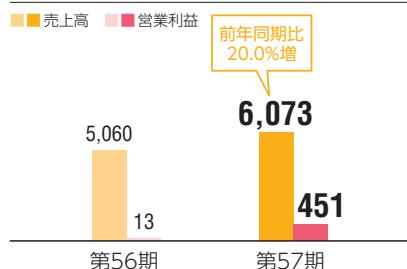
前年度受注した大手企業における情報システム部門業務のアウトソーシング案件が本格稼働し順調に進行したことや、サービスモデルを活用した提案営業の成果が徐々に現れ、既存顧客に対するサービス領域が拡大したことで、前年同期比で増収となりました。利益面におきましては、前年同期に獲得した新規案件が安定稼働したことなどにより、前年同期比で大幅な増益となりました。

パーキングシステム事業

NCD、NCDプロス、NCDエスト



売上高／営業利益 (単位：百万円)



主要なサービス

- ・駐輪場の設営・運営・管理受託
- ・駐輪場管理システムの販売および運営
- ・自転車関連の総合コンサルティング
- ・自転車関連商品の販売

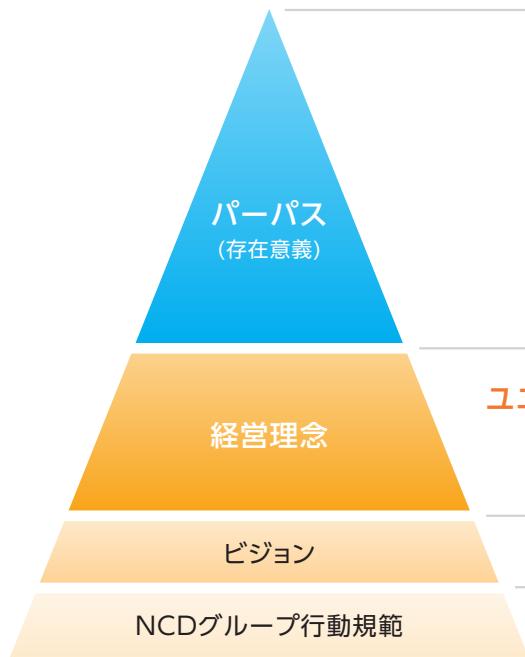
大阪市を中心とした鉄道利用者向けの新規案件などによる機器販売の増加、通勤・通学客の鉄道利用状況の改善による駐輪場利用料収入の増加、また、前年度受注した指定管理者事業などの大型案件が寄与し、前年同期比で増収となりました。利益面におきましては、増収の効果に加え、グループ会社を活用した外部委託業務の内製化に努めたことなどにより、前年同期比で増益となりました。

(*) NCD China は「天津恩馳徳徳信息系统開発有限公司」の英語表記です。

何のために社会に存在し、どんな価値を提供していくのか

社会環境が大きく変化するなかで、事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献するとともに、企業価値を向上させ持続的に成長していくため、当社グループの社会的存在意義を改めて見つめ直し、2022年4月、企業理念体系の最上位概念として「パーパス」を新たに制定しました。

パーパスおよび新企業理念体系について



人の鼓動、もっと社会へ。

私たち一人ひとりが未来に胸をときめかせ、
誰もが生き活きと輝ける社会をつくる。

Powering the world with passion.

We dream of building a future where everyone can be their fullest selves.

ユニークな技術とサービスにより、明るい未来に貢献する。

**Contributing a bright future
through unique technologies and services.**

詳細は企業理念体系ページをご確認ください。
<https://www.ncd.co.jp/company/principle/>



パーパス策定までのプロセス

2021年8月、代表取締役の下條治が旗振り役となり、若手からベテランまで、世代を超えて様々な役割や経歴をもった19名の有志が集まり、パーパス策定プロジェクトが発足しました。

これまでのNCDグループの強みやカルチャーを見つめ直す現在視点のプロセスと、外部環境の変化の兆しから、これからあるべき姿や持つべき強みを洞察する未来視点のプロセスを経て、現在と未来をつなぐ普遍的な社会的存在意義についてメンバーが多くの議論を重ね、自分たちのありたい姿、未来の社会への想い、大切にしたい「NCDらしさ」を一つの言葉として紡ぎ出しました。



▲パーパス言語化に向けた議論の様子(2022年3月下旬に撮影)

パーパスに込めた想い

社員、お客様、社会のすべての人に寄り添い、多様性を尊重するという創業以来の企業文化を大切に、ユニークな技術とサービス、ダイナミックな発想により、社会課題を解決していくことで、誰もが生き活きとわくわく胸躍るような明るい社会を実現させることが、NCDグループの存在意義であるとの認識のもと、「人の鼓動、もっと社会へ。」をパーパスとして制定しました。

今後、このパーパスをNCDグループのすべての企業活動の起点とし、社員一人ひとりへの浸透、また、その実現に向けた行動変容と成長を目指すとともに、サステナビリティ経営のさらなる推進を図ってまいります。

社外取締役メッセージ



社外取締役
安岡 正晃

パーパスの真の意味での浸透を

今回、有志社員が自ら想いを語り、それがパーパスとして形になりました。自分たちは何のために働き、自社は何のためにあるのかを問う議論を尽くしてくれたプロセスを大変頼もしく思います。また、NCDグループがこれからも社員、顧客、社会、株主などすべてのステークホルダーから認められ必要とされる企業であり続けるために、着実に歩を進めていると感じました。

今後、社員一人ひとりが自らの仕事をパーパスに照らしたときに、それがどのように社会とつながっているのかを理解し、共感し、自分の言葉で語れる、自分がその一部を担っているという意識が醸成されてこそ、企業に対する「信頼」が得られます。多様な人材の力を引き出し、持続的成長を実現するにはパーパスが欠かせません。すべての企業活動を、パーパス実現のための活動として、取り組むことが必要です。このパーパスが額に入れて飾られているだけとならぬよう、その浸透について社外取締役としても共に考え、また、注意深く見守っていこうと思います。



環境

「Amazon ロッカー」のサービスを開始

駐輪場における利用者サービス向上の一環として、2022年2月、アマゾンジャパン合同会社(所在地:東京都目黒区)とのパートナーシップにより、荷物受取専用ロッカー「Amazon ロッカー」のサービスを開始しました。再配達への削減等によるCO2排出抑制に寄与する同サービスの導入を積極的に推進し、マテリアリティ(重点課題)に掲げる、高付加価値な駐輪サービスの提供による「カーボンニュートラル実現への貢献」を目指してまいります。



▲駐輪場での商品受け取りは通勤帰りなどにも便利



社会

女性活躍推進への取り組み加速に向けた数値目標を設定

NCDグループは「ダイバーシティ&インクルージョンの推進」をマテリアリティに掲げ、性別、年齢、国籍、障害の有無、性的指向、価値観、勤務体系などの垣根なく、一人ひとりの個性を尊重し、すべての社員が働きがいや生きがいを持ち、能力を最大限に発揮できる職場環境(制度・風土)の構築を目指しています。その端緒として、女性の活躍推進の取り組みをさらに加速するため、女性社員の管理職登用などについて以下の数値目標を設定しました。多様な人材の確保に向け、今後もグループ一丸となって各種施策を積極的に実行してまいります。

項目	現状 ^(*)	2026年度	2030年度
女性管理職比率	10.5%	20%	25%
従業員全体の女性比率	27.7%	30%以上	
女性常勤取締役/執行役員数	0人	1人	2人

(*) 2022年3月31日時点

ダイバーシティ・マネジメント研修を実施

ダイバーシティ&インクルージョンの本質を理解し、多様な人材に対するマネジメント力の強化を目的に、管理職層110名を対象としたダイバーシティ・マネジメント研修(識者講演、アンコンシャス・バイアストレーニング^(*)、ケーススタディなど)を実施しました。

(*) アンコンシャス・バイアス…誰もが潜在的に持っている偏見であり、育つ環境や所属する集団の中で形成される既成概念、固定観念



ガバナンス

ガバナンス態勢のさらなる高度化

2022年4月、当社は当初の選択申請通り、東京証券取引所スタンダード市場へ移行しました。スキル・マトリックスの開示や議決権電子行使プラットフォームの利用開始など、改訂コーポレートガバナンス・コードへの対応も進めつつ、今後も、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上のため、ガバナンス態勢のさらなる高度化を図ってまいります。



パーキング
システム事業

4自治体にて約58,000台分の駐輪場管理運営を開始

東京都新宿区、板橋区、品川区および神奈川県川崎市において駐輪場管理運営事業者に選定され、2022年4月より、4自治体合計で246箇所、約58,000台分の駐輪場の管理運営を開始しました。新宿区については同エリアに拠点を持つグループ会社(NCDプロス株式会社)との共同事業体で応募し、シナジーを活かした迅速できめ細かなサービスが評価されました。今後も、地域企業等との共同を含め、地域に根差したよりよい駐輪サービスの提供により、安心・安全で豊かな社会づくりに貢献してまいります。



▲西武新宿駅前駐輪場(新宿区)

大型商業施設「KAMEIDO CLOCK」に駐輪場を開設

野村不動産株式会社との協働により、同社が2022年4月に開業した大型商業施設「KAMEIDO CLOCK(カメイドクロック)」に駐輪場を開設しました。ポーノ相模大野(2013年開設、1,012台)、横浜ビジネスパーク(2021年4月開設、327台)に続いて野村不動産グループと共に手掛けた大型駐輪場であり、合計1,244台の自転車・バイクの収容が可能です。



▲施設利用者の動線や多様なニーズに配慮した設計



その他

本社照明設備のLED化を実施

本社オフィスすべての照明設備を省エネルギー効果の高いLED照明へ切り替えました。これにより、省電力化および長寿命化によるコストの削減、CO2排出量の削減による環境負荷の軽減を図ってまいります。

AED(自動体外式除細動器)を設置

主要事業拠点およびグループ各社へAEDを設置しました。今後、緊急事態においても適切な救急救命を行えるよう各拠点にて講習会を開催し、社員をはじめ、お客様、近隣住民の皆様の安全・安心に努めてまいります。

人の鼓動、もっと社会へ。

私たち一人ひとりが未来に胸をときめかせ、誰もが活き活きと輝ける社会をつくる。

ユニークな技術とサービスにより、明るい未来に貢献する。

ビジョン ～NCDが目指す姿～

私たちNCDは1967年の設立以来、常にお客様の満足を第一に考え、最適なシステムときめ細かなサービスの提供に努めてきました。お客様のビジネス戦略を深く理解することに始まり、問題の発見から将来構想まで、コンサルティング、システム構築、運用管理を網羅する一貫したサービスを提供できる体制を整えています。

更に、私たちが長年培ってきたIT技術は、様々な分野での活用へと発展しています。その一例として、私たちは駐輪場の新たな事業モデルを生み出し、今や、街の環境問題を解決するソリューションとして、社会に定着しつつあります。

私たちは引き続き、様々な分野でのIT活用の可能性を探究することにより、お客様、更には社会から常に必要とされる、価値ある企業であり続けることを目指します。

NCDグループのご紹介

～今回はNCDテクノロジー株式会社を紹介いたします～

NCDテクノロジー株式会社は、関東エリアを中心にIT関連事業(システム開発事業、サポート&サービス事業)を主として行っており、2000年にNCDグループの一員となりました。2020年4月には、これまで築いてきた信頼のもとに、日本水産株式会社との協業によりニッセイ事業部を設立するなど、「Change & Growth」をスローガンに成長を続けています。今後も、NCDとの効率的な機能分担による事業規模の拡大、また、協業を通じた人材交流によるイノベーション機会の創出などにより、NCDグループの持続的な成長へ貢献してまいります。

詳細はこちらからご確認ください。

▶ NCDテクノロジーについて
<https://www.ncdtec.co.jp/>



▶ NCDグループについて
<https://www.ncd.co.jp/ir/3min/>



会社概要 (2022年3月31日現在)

商号	日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社 Nippon Computer Dynamics Co., Ltd.
設立年月日	1967 (昭和42) 年3月16日
資本金	438,750,000円
主な事業所	本社 (東京都品川区) お台場オフィス (東京都江東区) 江東サービスセンター (東京都江東区) 福岡オフィス (福岡市博多区) 長崎オフィス (長崎県長崎市)
従業員の状況	NCDグループ 993名 NCD 639名 (注) 上記人数には、契約社員、パートタイマー、嘱託契約の従業員および派遣社員を含みません。

連結子会社 (2022年3月31日現在)

社名	設立	所在地	資本金	当社出資比率
株式会社ゼクシス	1969年 3月	大阪市中央区	96百万円	100%
NCDテクノロジー株式会社	2000年11月	東京都品川区	40百万円	100%
天津恩馳徳信息系统開発有限公司 (NCD China)	2005年 4月	中国天津市	600千米ドル	100%
NCDプロス株式会社	2018年 3月	東京都目黒区	30百万円	67%
NCDエスト株式会社	1978年 4月	福岡市博多区	10百万円	100%

役員 (2022年6月28日現在)

代表取締役社長	下條 治	社外取締役(監査等委員)	中山 かつお
取締役専務執行役員	高木 洋	社外取締役(監査等委員)	奥野 滋
取締役専務執行役員	加藤 裕介	社外取締役(監査等委員)	圓角 健一
社外取締役	宮田 晴雄	執行役員	田辺 信幸
社外取締役	安岡 正晃	執行役員	中根 純一
取締役(常勤監査等委員)	小林 勇記	執行役員	苅辺 勉
		執行役員	安藤 登志夫

株式の状況 (2022年3月31日現在)

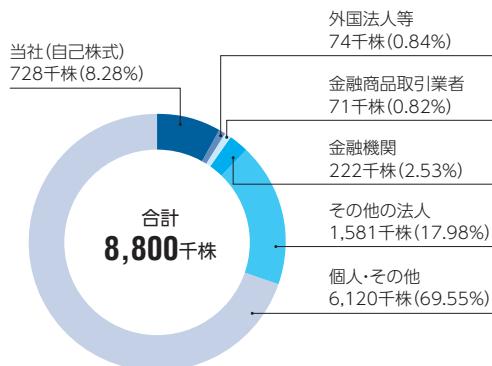
発行可能株式総数	14,000,000株
発行済株式の総数	8,071,068株 (自己株式728,932株を除く)
単元株式数	100株
株主数	3,497名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
光通信株式会社	604	7.48
NCD社員持株会	433	5.37
株式会社北斗	430	5.32
小黒 節子	280	3.46
下條 治	257	3.19
寺内 吉孝	180	2.23
山田 正勝	172	2.13
吉岡 裕之	158	1.95
株式会社エスアイエル	157	1.95
下條 芳	155	1.92

- (注) 1. 当社は自己株式(728,932株)を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式数構成比



株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領 株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場 (証券コード4783)
公告の方法	電子公告により行います。
公告掲載URL	https://www.ncd.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じた時には、 日本経済新聞に公告いたします。)

メール配信サービスのご案内

個人投資家の皆様向けのメール配信サービスを行っています。最新のリリース情報やIR資料等の更新情報をメールでお知らせしますので、ぜひご登録ください。

メール配信サービスはこちら
<https://rims.tr.mufj.jp/?sn=4783>



三菱UFJ信託銀行株式会社が提供するサービスを利用しています。ウェブサイトに記載のご利用条件をご確認の上、ご利用をお願いします。



株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、以下の株主優待制度を実施しております。

対象となる株主様

毎年9月30日現在、当社株式1,000株以上保有いただいている株主様
贈呈時期

12月初旬に発送する「中間株主通信」に同封して贈呈

株主優待制度の内容（贈呈品：クオカード）

保有株式数	継続保有期間	
	3年未満	3年以上
1,000株以上 3,000株未満	2,000円分	3,000円分
3,000株以上 5,000株未満	3,000円分	5,000円分
5,000株以上	5,000円分	7,000円分

継続保有期間条件について

- ・年1回毎年9月末を基準日とし、同日付の当社株主名簿の記録により確認できる株主様を対象といたします。
- ・継続保有判定は、**半期ごと（毎年3月末および9月末）の当社株主名簿に、「同一の株主番号」で連続して7回以上記録された株主様**を、継続保有「3年以上」の対象といたします。
- ・「同一の株主番号」記録の連続性が中断された場合には、継続要件を満たさないものとして取り扱います。例えば、保有されていた当社株式の全部を一旦売却した後に、3月または9月の権利付最終確定日までに株式を買い戻した場合などが該当します。

当社のウェブサイトでも財務データ、
企業情報などを開示しております。
ぜひご覧ください。

<https://www.ncd.co.jp/>

NCD IR

検索

日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田四丁目32番1号
TEL 03-5437-1021
<https://www.ncd.co.jp/>



本冊子に関するお問合せ先 総務部 TEL 03-5437-1021

